樅の木会（デンソー山岳部ＯＢ会）

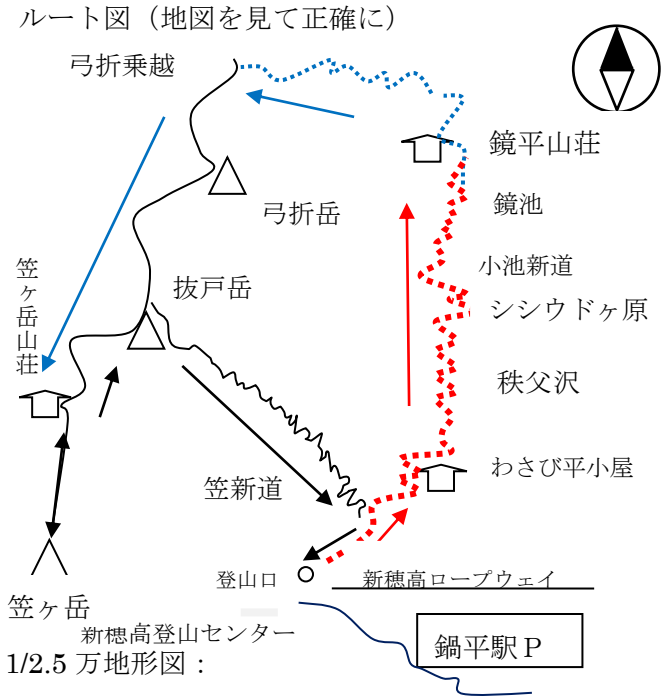
８月度 例会 個人 山 行 報 告 書

報告者	油井　武	参 加 メンバー	CL: 津田　廣一
報告日	８／７		ＳＬ：油井　武（たける）
			三矢　十三世
			津田　利栄子

山 域	北アルプス	山行日	２０１５/８/１（土）～
山 名	笠ヶ岳		２０１５/８/３（月）
山行目的	北ア夏山を楽しむ		

配布先
総会参加数
山行: 1 リーダー
原紙: 会事務局

ルート図（地図を見て正確に）



1/2.5 万地形図：

コースタイム（天候：天気図記号）

*８/１（土）晴
刈谷 5:00～8:33 新穂高温泉着
10:10 登山センター発 11:30 わさび平小屋着~11:50 発
13:15 秩父沢
1500 ししうどヶ原
16:05 鏡池～16:10 鏡平山荘着
＊８/２（日）
6:05 鏡平山荘発 7:05 弓折乗越着 7:40 弓折岳発
8:36 大ノマ岳通過～10:25 秩父ヶ原
11:30 抜戸岳分岐
13:40 笠ヶ岳山荘着 13:53 同発
14:11 笠ヶ岳頂上着(2898m)18℃
休憩 20 分 14:30 頂上発～14:45 笠ヶ岳山荘着
＊８/３（月）
6:00 笠ヶ岳山荘発
8:07 抜戸岳着(2813m)17℃
8:30 抜戸岳発
12:50 笠新道登山口着
13:48 新穂高登山センター着～♨
16:00 同上発
20:25 刈谷着

〈山行報告〉１日目】デンソー年金会館Ｐに集合、刈谷を５時に出発。途中“ひるがのＳＡ”着 6:45,小休憩後、高山経由新穂高温泉登山口 8:33 着。夏山ハイシーズンの為か、Ｐは満杯。津田リーダーが車を鍋平Ｐに回す間、支度を整え、登山センターへ登山届を出し出発(10:10)。ロープウェー駅前を通って橋を渡り左俣谷左岸林道を進むと直ぐに車止めゲート。林道を歩くこと 60 分で、中崎橋を渡りその後１０分で笠新道登山口に到着。そこで水を確保して先へ進む。わさび平小屋では食事と十分な休憩をとる。さらに左俣林道を行くと２０分で槍ヶ岳への分岐の中崎橋に。そこから我々は小池新道に分かれ、いよいよ本格登山となる。ピッチ４５/min⇒４２としながら秩父沢を目ざす。途中、奥抜戸沢から押し出したと思われる大量の雪渓を横切り、時々吹き抜ける涼風を楽しみながら前に進む。秩父沢の仮橋を渡ったところで一本摂り、沢の冷水で渇きを癒やす。そこからイタドリヶ原を抜けシシウドヶ原で一本。初日の最後の急登を１時間で登りきると鏡池に到着した。雲一つない青空のもとに槍、大喰、中、南、キレット、北穂，涸沢と続き北ア連山が一望のもとに眺められ、登行の疲れを一度に吹き飛ばされた思い。しばらく池面に映る槍ヶ岳の勇姿に見とれていた。鏡平山荘で夕食後鏡池に映る槍ヶ岳のアーベント・ロートは素晴らしく、最後は赤い雲が北穂から左に流れて来て幕引きとなった。

２日目】鏡平山荘６時出発直後、隊員の一人が池のほとりに咲く綿毛のチングルマを見つけて大はしゃぎ！まだ先にいくらでもあるのに・・・。鶯の声でやっと美腰が上がる。弓折岳乗越まで１時間鶯の声を録音しながら往く。そこから抜戸岳までのお花畑は、また道草ならぬ道カメラ。おかげで、北ア全山を何度も目で縦走しながら尾根歩きを楽しむ事が出来た。笠ヶ岳山荘到着後、笠頂上へ。頂上は晴天で、３６０度見晴らしがよく、富士山、南ア、中央ア、乗鞍、御岳、白山、黒部五郎、薬師、立山、赤牛、水晶、鷲羽、双六、燕、白馬、槍・・と全方位が楽しめた。山荘では東に窓のある４人部屋で眺めがよくこれまたラッキー！

３日目】＊振り返り振り返り見る笠ヶ岳月を背負いて朝日に映える
とにかく笠新道の下りは長く、しんどかった。

〈リーダー所見〉夏山とはいえ、やはり３千m弱で雪渓あり・平均斜度３０度と急峻な笠岳の降りは、体力に自信があるとはいっても侮れない山である。日ごろのトレーニング不足や小石靴入など、反省点がいくつかあった。休日で人が多かったが２日目以降まばら、晴天に恵まれ、素晴らしい山旅であった。最後に安全運転で笠ヶ岳登山を締めくくることができたのは、ひとえに関係者のサポートのお陰と感謝の念に堪えない。

笠ヶ岳山頂にて

鏡池に映る槍ヶ岳のＡ＆Ｒ

確認（リーダー）	作成（報告者）
津	油
8/7	8/7
田	井